

## 講演

### 増えてきた「コミュニケーションが苦手な若者たち」と 学校や職場はどうつきあうか

学校や組織で人がいきいきと学び、働き、生きるために、人と組織はどうしたらいいのでしょうか？心の問題からの不登校や退学。入社後も休職・退職が目立つ状況下、教育現場や企業での豊富な実例を基に解決策を考えていきます！

#### 講演概要

発達障害、コミュニケーション障害など、人との関係をうまく築けない若者たちが社会に出て仕事に就いたとき、それまでの学校生活以上に大きなギャップに直面し、リアリティ・ショックを感じる（あるいは本人だけが感じずに周囲が痛感する）ことが数多く起きています。

昨年ご好評を博しました大正大学の廣川進先生に、今回も引続きご登壇いただきます。今回は現代の学生の新型うつ、適応障害、発達障害。いわゆる「グレーゾーン」の現状と支援について考えました。

今回は学生が就職した先の職場でどんなことが起きているかについて紹介しながら、学校にいる間にできる支援について考えていきます。

職場のカウンセラーとして、働く人の心のケア、新入社員のケア、復職支援などに関わってきた経験から職場（とくに新入社員）の現状と課題についても触れます。それを踏まえて、送り出す学校ではどんな「学生支援」が求められるのかについても検討していきます。

#### 廣川進先生のプロフィール概要

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科 教授（文学博士）  
（大正大学院博士課程修了）

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。

1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門立ち上げの業務を経験。

2001年退社後、大学教員の他に海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

<主な著書>

- ・「成人発達臨床心理学一個と関係性からライフサイクルを観る―」（岡本祐子編）ナカニシヤ出版
- ・「統合的心理臨床への招待」（村瀬嘉代子監修 共編著）ミネルヴァ書房
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版